

情報化施工の一般工事への普及のためには、  
戦略的に普及・促進を図ることが必要

**情報化施工推進戦略(仮称)の策定**  
具体的な目標  
目標達成のための各種制度面・技術面の課題と対応方針  
目標達成に向けた対応スケジュール・役割分担(ロードマップ)

**情報化施工推進会議**

建設技術研究開発  
助成制度  
(実用化研究開発公募)

成果

(WGの構成案)

**基準・制度WG**

**建設機械WG**

情報化施工に関する  
ISO委員会  
(TC127SC3WG5)

連携

**土工・舗装**

**ダム**

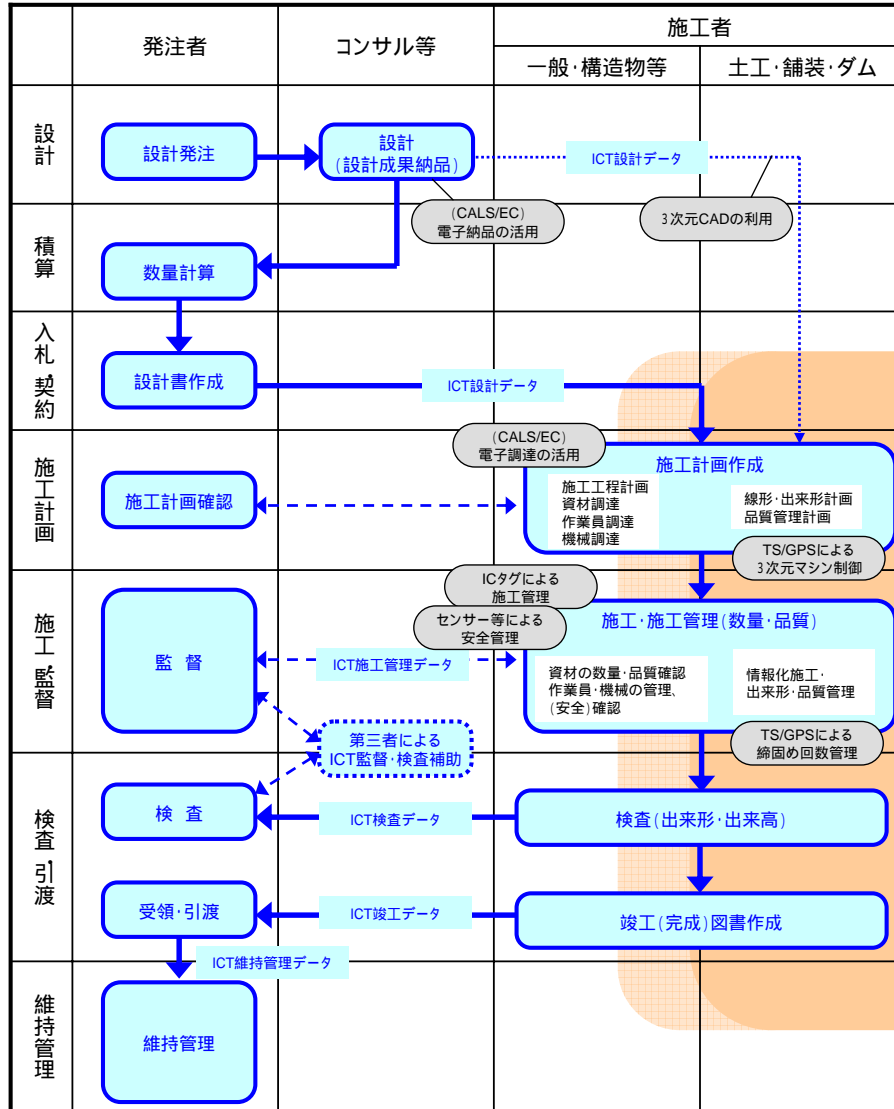
検討課題(案)

工法標準化に向けた積算、歩掛調査  
施工管理基準、監督・検査基準  
設計手法(技術基準)  
技術提案の評価方法  
発注者・施工者間の施工データの共有ルール  
施工データの有効利用方策  
試行工事・実工事への導入促進  
情報化施工機器導入支援方策(融資・貸与)

情報化施工機器の搭載の簡易化  
情報化施工機器の低コスト化  
情報化施工対応技術者の育成  
情報化施工の普及のための広報  
情報化施工機器間のデータ交換標準

# 推進戦略の対象分野について

## < 施工プロセス全体の流れ >



## < 対象工種 >

ブルドーザ、グレーダ、ローラー、  
バックホウ等の一般建設機械を  
活用する工法のICT化

計測・モニタリングによる  
ICT施工



土工

一般、構造物工  
(橋梁下部工、ボックスカルバート工等)

舗装工

トンネル工(山岳)

ダム(堤体工)

橋梁上部工

シールド工

今回、取り扱う主要分野

# 推進戦略の策定スケジュール(案)

## 第1回(平成20年2月25日)

推進会議の設立趣旨・規約の承認  
情報化施工推進の背景と必要性  
情報化施工の事例と課題  
今後の進め方の審議  
WG体制の承認



WGによる検討(普及促進に向けた課題と対応方針、将来に向けた提案等)

## 第2回(平成20年4月頃)

普及促進に向けた課題と対応方針の整理  
将来に向けた提案等  
推進戦略(骨子)の審議

## 第3回(平成20年6月頃)

推進戦略(素案)の審議

各回の会議の間に適宜、WGで検討

## 第4回(平成20年7月頃)

推進戦略(最終案)の審議・決定・公表

以後

- ・定期的に推進戦略の実施状況フォロー
- ・適時見直し

## 情報化施工推進戦略（仮称）＜骨子案のイメージ＞

### 1. 推進戦略の策定に至る背景等

### 2. 情報化施工導入の目的と効果

（国民、発注者、施工者、メーカーそれぞれの効果を具体的に整理）

例）

国民	：良いものをより安く
発注者	：確実な品質チェックと監督・検査の合理化、コスト低減、環境保全、 効率的な維持管理
施工者	：コスト削減、熟練者不足対応、安全確保、環境保全、 競争力強化による受注機会の拡大
建設機械メーカー	：高付加価値の商品市場の拡大
測量機器メーカー	：市場の拡大

### 3. 普及に向けた課題と対応策（タスク）

（各種制度面、技術面の課題を抽出して役割分担を整理）

例）

発注者	：情報化施工に活用できる設計データの提供、技術提案の評価方法、 工法標準化に向けた積算、歩掛、施工管理基準、監督検査基準の策定、 情報化施工機器導入支援（融資、貸与等）
施工者	：施工方法の転換（情報化施工機器の導入、人材育成） 施工データの発注者（管理者）への提供
建設機械メーカー	：情報化施工機器の搭載を容易にする建設機械の市場導入
測量機器メーカー	：情報化施工機器のコストダウン、人材育成
研究機関	：施工データの有効利用方策（維持管理等）、 データ交換の国際標準化

### 4. 重点目標の設定

（各タスクを解決することで短期的、中長期的に実現する姿と期限を具体的に記述）

#### A. 短期的目標（3～5年）

実用化レベルの高い技術の一般工事への普及をめざすもの

（例）

直轄の築堤工事、道路工事（土工・舗装）のうち中規模以上の工事については、○年後までに情報化施工（別途定義）による施工を標準的な工法として位置付ける。

#### B. 中長期的目標（5～10年）

ICTによる施工の合理化に向けて、各工種の特性を踏まえ、それぞれ中長期的に実現すべきもの

＜基準・制度＞

（例）

情報化施工を前提とした設計手法（技術基準）、品質管理手法、維持管理手法の構築

＜分野別推進目標＞

（例）

①オートメーションを目指す分野

例）製造業のライン生産のようなもの

②イージーオペレーション（イージーコンストラクション）を目指す分野

例）オペレータがデータの支援を受けて仕事が簡単になったり、一人で複数の機械を操作したりすることで、作業日数・作業量を減らすもの

③苦渋作業解消を目指す分野

例）作業環境の悪い作業について、無人化、省人化、省力化するもの

### 5. 課題解決、重点目標達成に向けたロードマップ

（目標達成に向けた各タスクとスケジュールを示すロードマップを作成）

### 6. 推進体制

（推進戦略の各タスクの実行、実施状況の評価体制を記載）

①推進戦略の策定・実施状況の評価 ； 情報化施工推進会議

②推進戦略の各タスク ； 各分野のWGが中心となってタスクを実行

（参考）WGの構成（案）

**基準WG（土工・舗装／ダム）**

建設施工企画課、業界団体、国総研、土研、技調課、治水課、国道・防災課、地整

**建設機械WG**

建設施工企画課、業界団体、国総研、土研